

【2021年上半期の救急統計（速報値）について】

2021年上半期の救急統計（速報値）を取りまとめましたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 平均値は2016年から2020年までの5年間の数値で少数第一位を四捨五入して表記し、また各項目ごとに算出しているため、平均値の合計は総数の平均値と合致しません。

※ 小数点を含む数値は、小数第二位を四捨五入して表記しています。

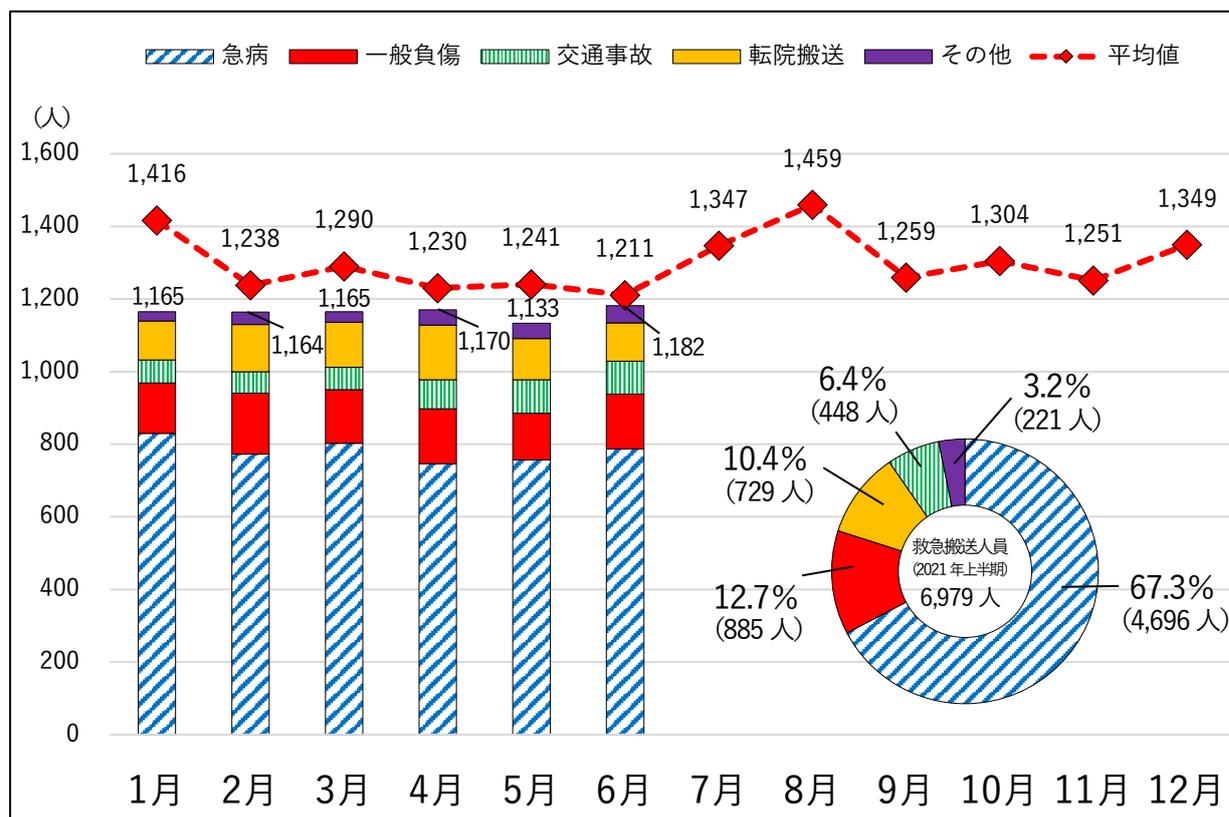
◆ 事故種別の救急搬送人員

2021年上半期の救急搬送人員は6,979人で、過去5年間（2016年から2020年まで）同期間の平均値と比較すると647人（8.5%）減少しました。

月別でも、すべての月で平均値を下回っており、平均値との差が最も大きい1月は、平均値と比較して251人（17.7%）減少しています。

これらは、新型コロナウイルス感染症の感染予防による外出自粛等が影響していると推測されます。

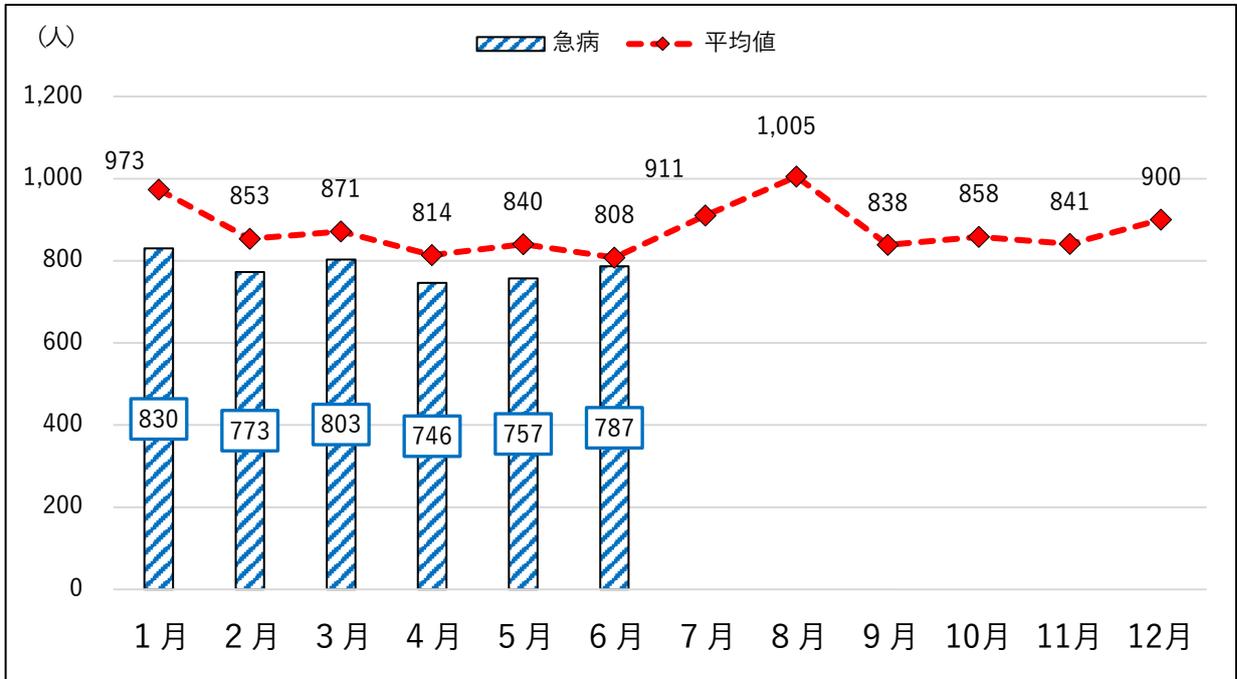
以下、事故種別（急病、一般負傷、交通事故、転院搬送、運動競技事故、労災事故、自損）の各項目の推移を示します。（総数が少ないその他の項目は省略します。）



(1) 急病

2021年上半期の急病による救急搬送人員は4,696人となり、平均値と比較すると463人(9.0%)減少しました。

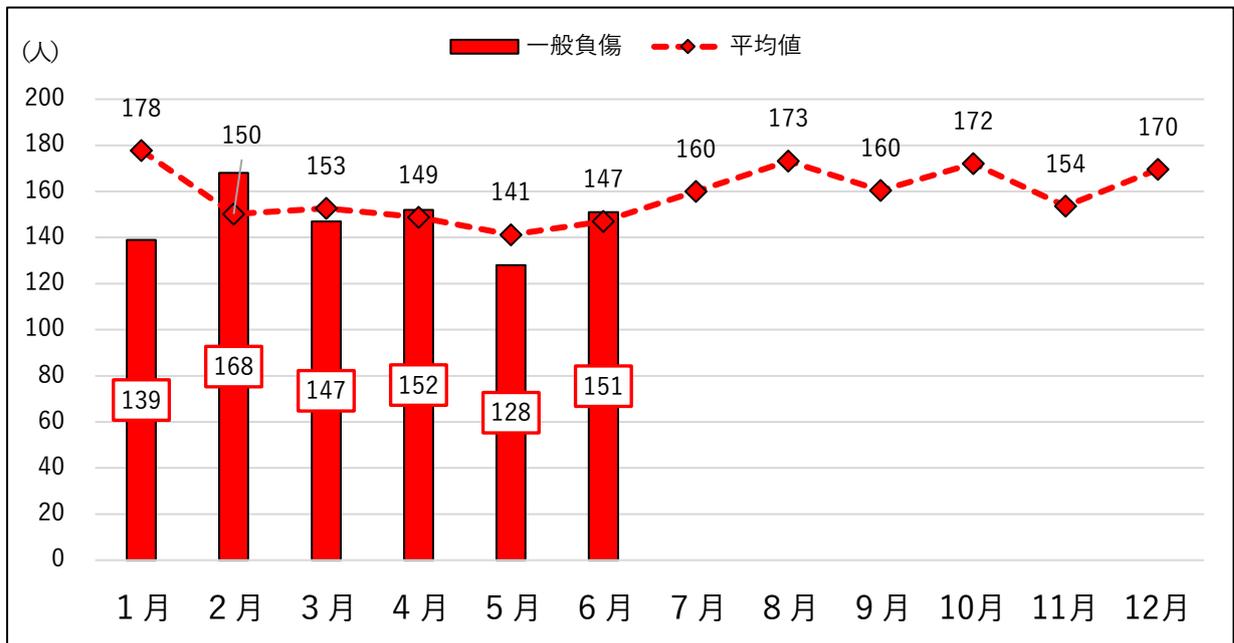
月別にみると、すべての月で平均値を下回っています。



(2) 一般負傷

2021年上半期の一般負傷による救急搬送人員は885人となり、平均値と比較すると33人(3.6%)減少しました。

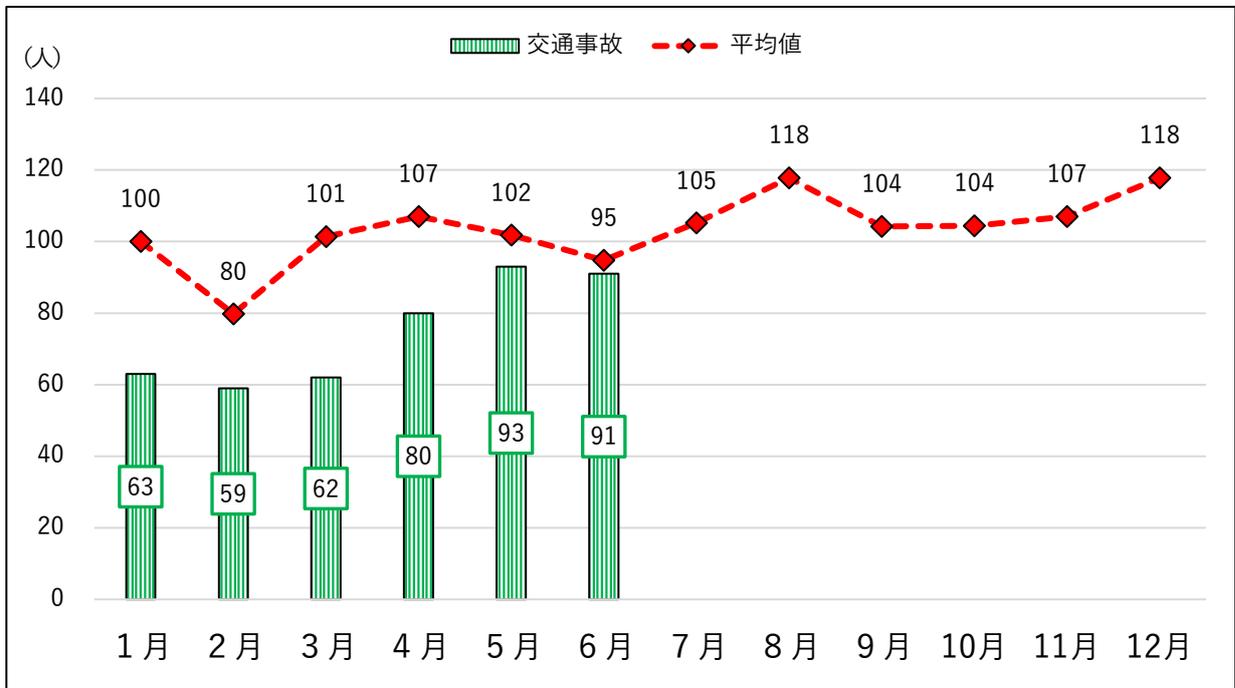
月別に平均値と比較すると、1月、3月、5月は平均値を下回っており、2月、4月、6月は平均値を上回っています。



(3) 交通事故

2021年上半期の交通事故による救急搬送人員は448人となり、平均値と比較すると137人(23.4%)減少しました。

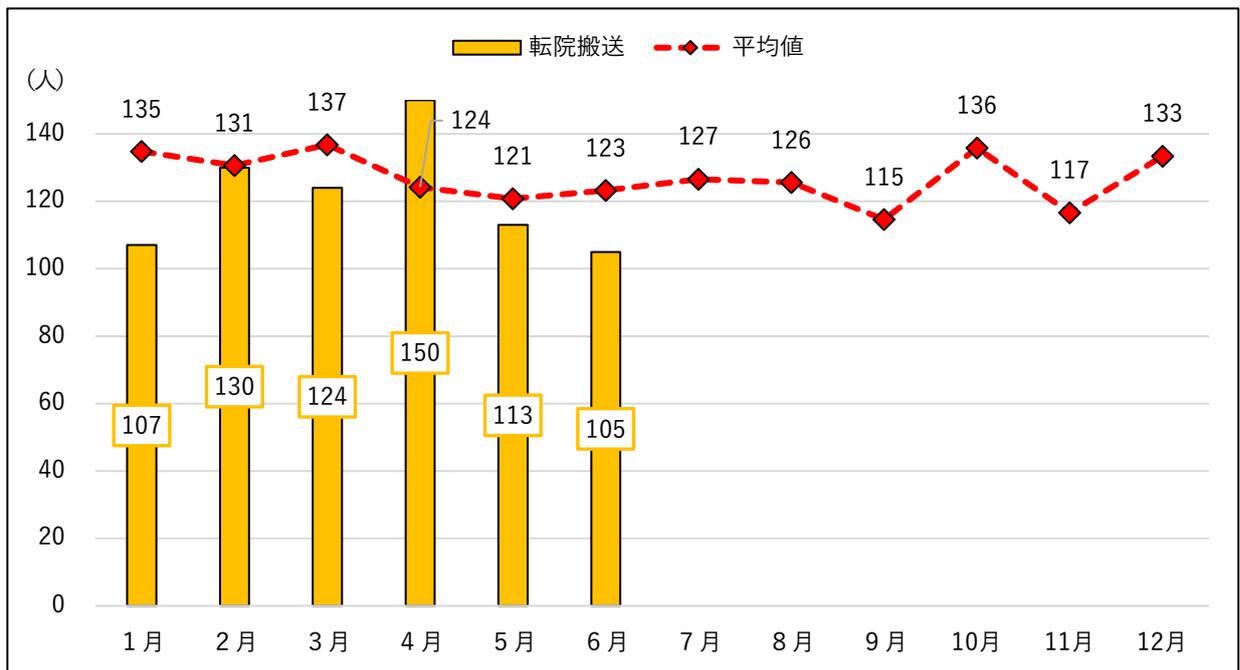
月別にみると、すべての月で平均値を下回っています。



(4) 転院搬送

2021年上半期の転院搬送による救急搬送人員は729人となり、平均値と比較すると42人(5.4%)減少しました。

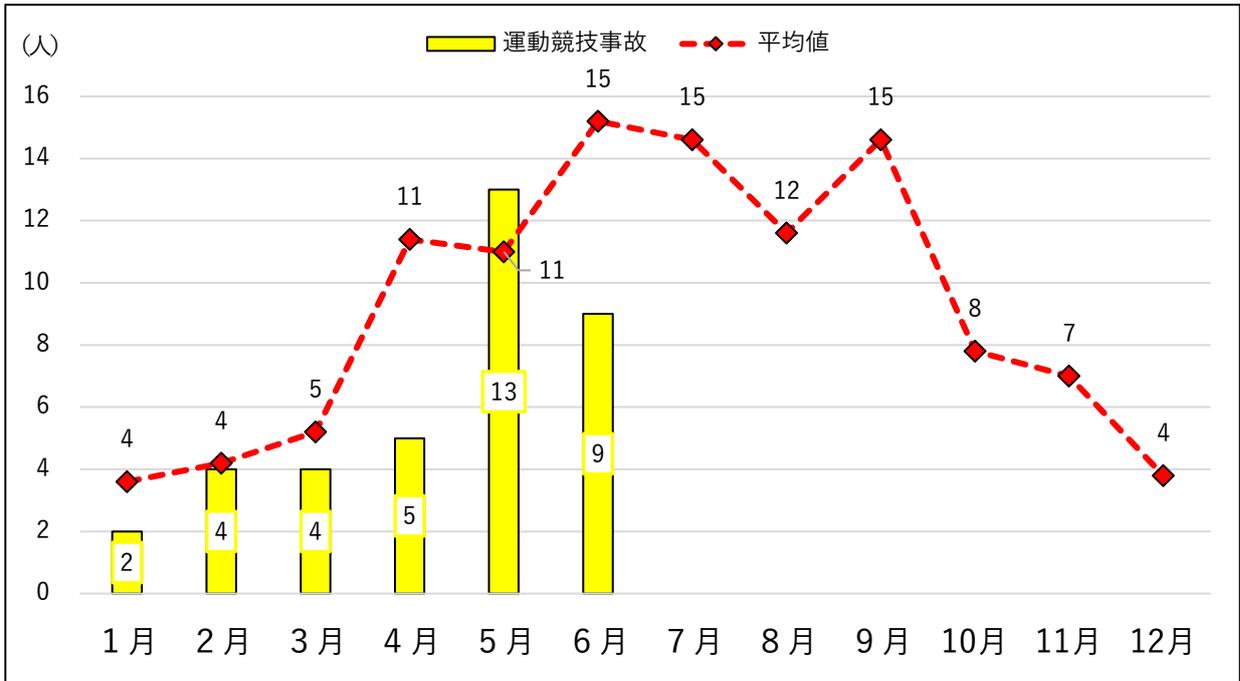
月別にみると、4月のみ平均値を上回っており、それ以外は平均値を下回っています。



(5) 運動競技事故

2021年上半期の運動競技事故による救急搬送人員は37人となり、平均値と比較すると13人(26.0%)減少しました。

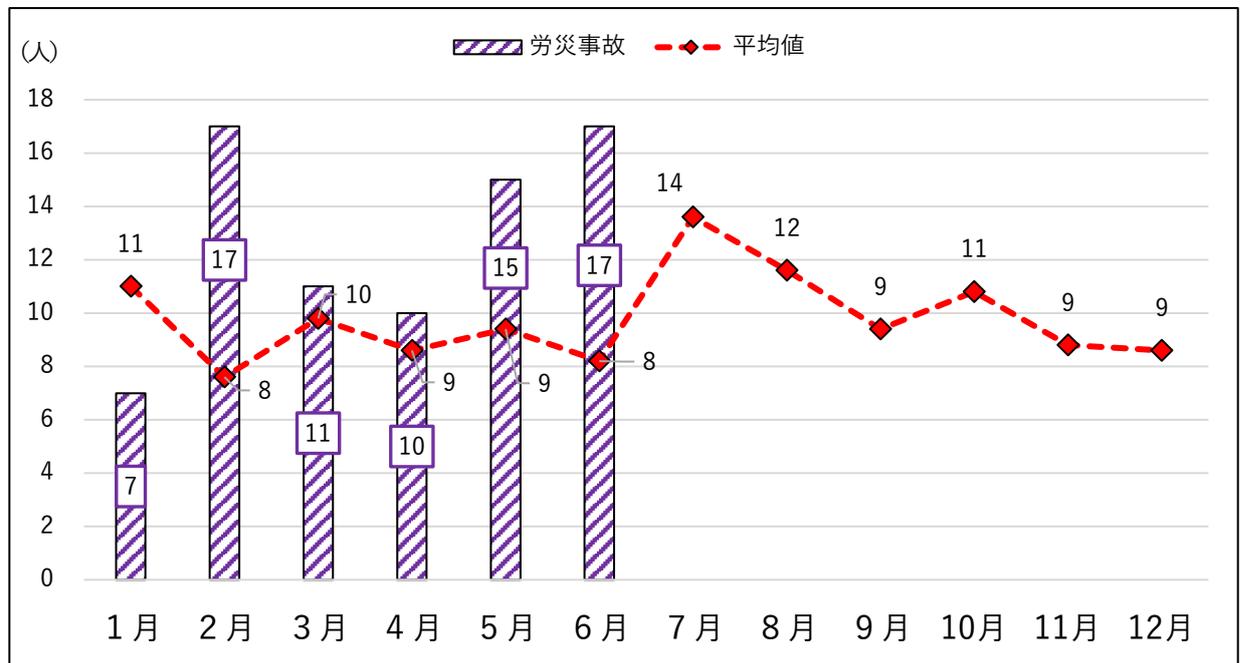
月別にみると、5月のみ平均値を上回っており、それ以外は平均値と同数又は下回っています。



(6) 労災事故

2021年上半期の労災事故による救急搬送人員は77人となり、平均値と比較すると22人(40.0%)増加しました。

月別にみると、1月以外のすべての月で平均値を上回っています。



(7) 自損

自損による救急搬送人員は上半期合計75人となり、平均値と比較すると19人(33.9%)増加しました。

月別にみると、2月以外のすべての月で平均値を上回っています。

